

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

令和4(2022)年度事業報告 参考資料

1	青少年健全育成事業 (栃木県青少年育成県民会議事業)	1
2	子ども総合科学館事業	4
3	とちぎ海浜自然の家事業	9
4	なす高原自然の家事業	12
5	文化振興関係事業	15
6	埋蔵文化財センター事業	22
7	栃木県総合文化センター事業	28

A. 次代を担う子ども及び青少年の健全育成及び福祉の増進に資する事業

1 青少年健全育成事業〔栃木県青少年育成県民会議事業〕

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 啓発資料等の作成・配布

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	種別	目的	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
1	機関誌 「青少年とちぎ」	青少年の健全育成に役立ち、県内各地で活躍されている指導者各位を結ぶ架け橋の役目を果たすとともに、一般県民に青少年健全育成活動を紹介する。	6,400部 (3,200部×2回) 11月、3月配布	各市町、関係機関、財団（青少年育成県民会議）賛助会員ほか	賛助会員には直接郵送するとともに、各市町や関係機関を通じて一般県民に配布した。	
2	「県民運動」 啓発物品	心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成するための県民運動を一般県民に周知する。	ウェットティッシュ 3,000個 カレンダー 3,200部 ポスター 1,200枚	県内全市町村民会議	各市町村民会議を通じて、総会や研修会の折に、一般県民にウェットティッシュを配布した。また、絵日記コンテストの入賞作品を利用した啓発カレンダー及びポスターを作成、関係団体に配布し周知への協力を依頼した。	

2 県民大会等の開催

No.	名称	目的	内容	対象・参加者数	実施日・回数	周知方法	備考
○ 1	少年の主張発表県大会	県内の中学生の若者としての誇りと自主性を育てるとともに、健全育成に対する大人の理解と関心を深める。	県内8地区より選出された代表16名の中学生による「少年の主張」発表県大会を実施した。 最優秀賞を受賞した阿久津 結花 さん 『私が育てる「結」』は第44回少年の主張全国大会において第3位にあたる国立青少年教育振興機構理事長賞を受賞した。	・地区大会： 中学生参加者総数 12,337名 ・県大会：発表者16名 聴衆118名 ※新型コロナウイルス感染症予防のため、関係者のみの参加とした。	・地区大会 8～9月（書面審査） ・県大会： 9月17日（土） 栃木県総合文化センターサブホール	県内全中学校、青少年育成関係団体にポスターを配布、当財団及び県ホームページ等	
○ 2	心豊かな青少年を育む県民のつどい	県民スクラム運動をより一層推進し、地域全体で青少年を育てていくという意識を高揚させる。	青少年の健全育成に資するため、青少年による作文発表、有識者による講演等を実施した。 ・社会を明るくする運動優秀賞受賞者作文発表、少年の主張最優秀賞主張発表 ・元厚生労働省雇用均等・児童家庭局児童健全育成専門官 柳澤 邦夫氏 講演会 ・県警音楽隊演奏会	・参加者 220名	2月4日（土） 栃木県総合文化センターメインホール	関係者への通知発出	

3 研修会、講習会等の開催

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	青少年育成市町村民会議等全体連携会議	青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図り、各青少年育成関係団体のより広い連携の在り方を考える。	栃木県総合文化センター	各青少年育成関係団体の年間活動計画の周知、各地区の青少年健全育成活動についての情報交換を実施。	市町村民会議や育成指導員、青少年育成関係団体	6月7日（火）	89名	希望者全て	各市町村民会議や育成指導員、各青少年育成関係団体に直接通知	
2	親子学び合い事業フォローアップ研修	親子学び合い事業講師のスキルアップを目指し、講座内容の定着や資質の向上のための研修を実施する。	とちぎ青少年センター等	合同会社ロジカルキッド下田太一氏を講師に、講座に使用する資料の確認や、講師としての知識の底上げに資する資料提供等を行った。	とちぎネット利用アドバイザーとして認定された講師	①5月14日 ②8月28日 ③10月15日 ④3月5日	28名	とちぎネット利用アドバイザー	本人に直接通知	
3	青少年育成セミナー（青少年の諸課題に関する連続講座）	複雑化する青少年問題の現状や課題を理解し、関係者に求められる役割等について考える機会とする。	とちぎ青少年センター及びオンライン	学識経験者または実務家による講演。（年4回実施）	市町村民会議や育成指導員、青少年育成関係団体、一般県民	①8月31日 ②10月7日 ③11月24日 ④2月4日	①47名 ②62名 ③54名 ④220名	希望者全て	各市町村民会議、青少年育成関係団体にチラシを配布、当財団及び県のホームページ、広報誌等	

4 講師等の派遣

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	親子学び合い（児童生徒と保護者のためのネット時代の歩き方講習会）	ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える機会を設け、スマートフォン等の特性についての知識を普及する。	各小中学校等及び各特別支援学校	主に民間有識者を講師として派遣し、1時間を目安に講話を行った。	小・中学校、義務教育学校の児童生徒・保護者等	各小中学校 98回	小中学生 8,383名 保護者等 3,599名 教職員 456名	青少年育成市町村民会議推薦校	市町村民会議を通じて各小・中学校、義務教育学校に通知、ホームページ	
					特別支援学校の児童生徒・保護者	特別支援学校 1回	児童生徒 名73名 教職員24名	希望校全て	各特別支援学校に通知、ホームページ	

5 助成事業

No.	名称	目的	内容	対象・団体数など	選定方法	周知方法	備考
1	市町村民会議活動促進補助金	市町村民会議が青少年健全育成のために行う事業の促進を図る。	市町村民会議が、社会環境の浄化や健全な家庭づくり推進活動、リーダー支援など青少年健全育成のために行う事業に対して助成する。	24市町村民会議 (補助金申請の無かった那珂川町を除く)	対象全て	市町を通じて該当市町村民会議に通知	
2	青少年育成指導員年間活動費	育成指導員と地区青少年育成連絡協議会との連携を深め、資質の向上を図る。	青少年育成指導員が青少年の健全育成のために主導的な役割を果たすための活動費を支給する。	栃木県青少年育成指導員(38名)	対象全て	青少年指導員会総会、市町村民会議等全体連携会議	
3	青少年育成指導員等研修会助成金	育成指導員と地区青少年育成連絡協議会との連携を深め、資質の向上を図る。	各地区青少年育成連絡協議会が、育成指導員との連携を深めるために実施する講話・演習などの開催に対して助成した。	県内8地区の青少年育成連絡協議会	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通知	
4	青少年育成指導員会自主研修会等助成金	育成指導員会、青少年育成及びその指導に関する資質の向上を図る。	育成指導員会が、年3回程度実施する講話・演習・発表会の開催に対して助成した。	青少年育成指導員会	対象は一つのため選定せず	青少年育成指導員会に通知	
5	少年の主張発表地区大会交付金	地区大会において青少年の健全育成を推進するとともに、その意義と重要性について県民の意識を高める。	青少年育成連絡協議会が実施する、国公立中学校・義務教育学校、特別支援学校中等部より選出された代表による発表会の開催に対し助成した。	県内の8地区青少年育成連絡協議会	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通知	
6	子どもの読書活動推進助成金	子どもと本をつなぐ方法を学ぶ講演会の開催を支援する。	栃木子どもの本連絡会が開催する講演会に対して助成する。	栃木子どもの本連絡会	対象は一つのため選定せず	栃木子どもの本連絡会に通知	

6 表彰

No.	表彰名	表彰者	対象者・人数など	選考方法	周知方法	表彰基準	表彰場所
1	栃木県青少年育成県民会議表彰	栃木県青少年育成県民会議会長、理事長	a 子ども育成・憲章功労者 26名 b 子ども育成・憲章功労団体 8団体 c 社会貢献青少年 該当なし d 優良青少年団体 2団体	市町長又は市町教育長、関係団体からの推薦に基づき、県、県教育委員会、県警察、当財団からなる選考委員会の審査・選考で決定	各市町、関係機関への通知、ホームページ	a 原則5年以上の活動 b 原則5年以上の活動 c 原則3年以上の活動 d 原則5年以上の活動	県公館
2	「家庭の日」絵日記コンテスト	栃木県知事	栃木県内に居住または通学している小学生以下 ※応募総数1,243点 入賞者：13名	とちぎ心のスクラム県民運動主唱4者(県、県教育委員会、県警察、当財団)による選考委員会の審査・選考で決定	チラシを各関係団体へ配布、当財団及び県ホームページ	家族のふれあいをテーマにした心あたたまる作品	県公館

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	子ども総合科学館	<p>21世紀の本県を担う子どもたちが、学校や家庭では得難い科学的な知識や経験を自ら楽しみながら学習するとともに、子ども自身が進んで活動できる場を整備することによって、科学する心や文化を創造する心を育て、情操豊かな心身ともに健全な子どもを育成することを目的に栃木県が昭和63年に設置した。</p> <p>展示を中心とした科学及び科学技術の普及啓発施設としての機能と健全な遊びを通じて心身ともに健全な子どもの育成を図るための児童厚生施設としての機能を併せ持っている。</p>	宇都宮市西川田町567番地	展示場、多目的ホール、企画展示室、学習室3、プラネタリウム、天文台、屋外遊具、乗り物広場(ミニ機関車、変り種自転車等)	展示場：大人550円 小人220円 プラネタリウム：大人220円 小人110円 ミニ機関車・変り種自転車 大人220円 小人110円 ※小人は4歳以上中学生以下	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
1	常設展示場の一般公開と運営	常設展示品やサイエンスショーにより、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	解説員による展示内容や操作方法の説明、サイエンスショーによる科学現象の紹介、大型シミュレーターの運行等。展示品の日常管理、故障展示品の修繕等。	一般	通年(休館日を除く毎日)、ショーなどは感染状況と合わせて実施回数を調整した。	129,110名	特になし	催し案内、ホームページ等	栃木県
2	企画展(夏) 「科学でスポーツ・いちご一会」	常設展示にない分野や話題性に富んだものを補完し、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	本県開催の国民体育大会の機運を盛り上げるため、スポーツの道具をテーマに企画展を実施。	一般	7/23～8/28	18,552名	特になし	企画展ポスターの管内掲示、ホームページ等	栃木県
3	企画展(春) 「記録と再生の科学」	常設展示にない分野や話題性に富んだものを補完し、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	音声および画像の記録・再生技術のほか、科学館の過去の企画展を紹介するアーカイブの展示を行った。	一般	3/18～4/5	7,744名	特になし	ちらし各学校に送付、ポスターの管内掲示、ホームページ等	栃木県
4	科学技術コンクール 「ロボット・チャレンジ」2022	試行錯誤をしながら創意工夫する製作活動を通して、物づくりの困難や楽しさ、達成感を味わい、科学的探究心と技術力を養うきっかけとする。	子ども総合科学館	自作のロボットを操作して、障害物コースの走行時間を測定する競技を行った。	中高生	11/6	164名	特になし	ホームページ等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
5	科学フェスティバル	多数の実験ブースや工作ブース、サイエンスショーコーナー等で会場を構成し、来館者に科学や物づくりに親しむ場を提供する。	子ども総合科学館	地域外部団体（地域の大学、高等専門学校等）との共催を予定していたがコロナ感染症の影響により規模縮小・人数制限して開催	一般	12/3・4	517名	希望者全て	ホームページ、事業案内を各学校等に送付、市町の広報誌	栃木県
○ 6	各種教室開催事業	科学に関する様々なニーズに対応した教室を開催して科学に親しむ場を提供する。	子ども総合科学館	科学工作教室、ミニ工作、移動科学教室、を開催した。 *科学工作教室のみ県民カレッジ登録事業	一般	年30回程度	1,532名	抽選等	ホームページ等	栃木県
7	プラネタリウム	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	最新の天文学や季節の星座等を紹介する番組、子どもを対象に興味付けを主な目的とする番組及び学習指導要領に準拠した学習番組などバラエティーに富んだ内容を投影した。	学校等の団体 一般	4回/日	45,578名	団体は申込順 一般は発券順	ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示等	栃木県
○ 8	天体観察会	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	太陽、月をはじめ、惑星、銀河、星雲・星団などの天体について、観察する機会を提供した。 *夜間の天体観察会（星をみる会）のみ県民カレッジ登録事業	一般	天文台公開年22回 (中止2回) 星をみる会年22回	2,969名 307名	希望者全て 抽選等	ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示等	栃木県
9	天文教室	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	月食の観察とライブ配信や小型望遠鏡の製作を行った。	一般	8/6・8/7 10/1・11/8	57名	抽選等	ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
☆ 10	体験・育成事業	子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操の向上を図る。	子ども総合科学館	感染症対策を講じると同時に、受付方法を時間制、定員制にするなどして、各種あそびのプログラムを実施。日常的なあそびとして「工作のテイクアウト」や「おしごとラボカンパニーまんすりー」、「パズルのい日」、ボランティアによる「おりがみであそぼう」、親子のあそびとして「まめっこタイム」を実施。また、「七色土玉でうつわをつくろう」や「忍者道場」「全国KAPLA®大会」「ウォーターバトル」「おしごとラボカンパニー」「科学館からの脱出Ⅲ」などの特別プログラムを実施した。	一般	通年(休館日を除く毎日)	延べ11,827名	内容毎に設定	ホームページ等	栃木県
11	児童健全育成団体への支援・指導	児童健全育成の向上と市町児童館活動等の支援、また、児童厚生員等の資質向上及び交流を図る。	県内の市町児童館や関係機関	感染症拡大防止対策として内容の再検討や定員の縮小をし、あそびの出前を実施し、県内の市町児童館や関係機関の支援等を行った。県内児童館と共同でプログラムをおこなう「あそびの連携事業」を実施した。	県内の市町児童館や関係機関	あそびの出前：18回 あそびの連携事業：5回	あそびの出前285名 あそびの連携104名	内容毎に設定	県内児童館及び各市町所管課に通知、ホームページ等	栃木県
12	児童館・児童クラブ職員研修	児童館・児童クラブに関する情報提供や児童厚生員・児童支援員の資質の向上を図る。	子ども総合科学館	児童館・児童クラブの児童厚生員・児童支援員への講演、実技講習として実施した。なお、法人認定の資格取得研修としての実施は平成29年度で終了している。	児童館・児童クラブに勤務する児童厚生員・児童支援員	5回	238名	申込順	県内児童館、各市町所管課を通じて児童クラブに通知	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
13	「とちぎのじどうかん展『あおぞらじどうかん』」	児童館活動の県民へのPRを図る。	子ども総合科学館	児童館のあそびを提供する『あそびのひろばmini』、児童館活動写真展『じどうかんですまいるきゃっち』、県内児童館・児童センターが作成した工作キットおよび「じどうかんマップ」を配布する『工作のテイクアウト』を実施した。	一般	2/23 3/12	『あそびのひろばmini』 443名 『工作のテイクアウト』 1,183名	特になし	ホームページ等	栃木県
☆ 14	乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理	子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操の向上を図る。	子ども総合科学館	感染症拡大防止対策を講じながら、変わり種自転車の貸出し、ミニ機関車の運行と点検・整備及び屋外遊具等の点検管理を行った。	一般	開館日 (但し乗り物広場は12月～2月平日運休)	自転車、ミニ機関車利用者数合計 89,653名	特になし	ホームページ等	栃木県
15	とちぎミュージカル協会公演 「クリスマスに贈るミュージカル・パフォーマンス」 (とちぎミュージカル協会主催、公益財団法人とちぎ未来づくり財団共催)	子どもたちによるミュージカルパフォーマンスを通して、身近なものとして芸術文化に触れ、子どもの心の健康を増進し、情操の向上を図る場を提供する。	子ども総合科学館	とちぎミュージカル協会所属の複数の団体によるミュージカル公演。子どもたちによる子どもたちのためのミュージカルパフォーマンスとしてクリスマスにちなんだ演目を上演。	一般	① 11/20, 21 全3回公演 ② 12/24, 25 全4回公演	計375名	特になし	ホームページ等	
16	「ぎぶん賞×SDGs大賞展」 (一般財団法人ぎぶん環境・文化プロジェクト主催、公益財団法人とちぎ未来づくり財団共催)	生命の源である水や海のテーマに通じて「命」や「自然」の大切さについて考えてもらうことを目的とした事業を支援する。	子ども総合科学館	小中学生を対象に募集した水をテーマとした作文とアーティストとの共同作品「ぎぶん賞」の受賞作展示及び中高生を対象にSDGs活動への取り組みの顕彰。	一般	2/15～2/25 (2/20・24を除く)	902名	特になし	ホームページ等	

令和4(2022)度栃木県子ども総合科学館利用状況調べ(前年度との比較)

(単位:人)

人数		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
展示場	大人	5,131	6,042	2,998	6,278	9,485	5,937	5,041	3,832	2,497	3,892	4,185	6,450	61,768
	前年度	4,772	3,624	2,732	6,026	0	0	4,706	4,120	3,117	3,262	3,199	6,418	41,976
	小人	3,949	8,913	5,898	5,948	8,583	4,990	8,841	6,826	1,910	2,688	2,934	5,862	67,342
	前年度	3,310	4,722	3,300	5,467	0	0	6,859	6,734	4,628	2,072	1,887	4,668	43,647
	合計	9,080	14,955	8,896	12,226	18,068	10,927	13,882	10,658	4,407	6,580	7,119	12,312	129,110
	前年度	8,082	8,346	6,032	11,493	0	0	11,565	10,854	7,745	5,334	5,086	11,086	85,623
プラネ	大人	1,378	1,714	933	2,025	3,731	1,809	1,613	1,248	849	1,281	1,266	2,030	19,877
	前年度	1,257	1,264	841	1,770	0	0	1,424	1,201	997	1,088	976	1,547	12,365
	小人	1,102	2,767	2,039	2,495	3,422	2,274	3,875	2,619	772	937	1,236	2,163	25,701
	前年度	828	1,799	1,483	2,090	0	0	2,461	2,350	1,532	836	605	1,320	15,304
	合計	2,480	4,481	2,972	4,520	7,153	4,083	5,488	3,867	1,621	2,218	2,502	4,193	45,578
	前年度	2,085	3,063	2,324	3,860	0	0	3,885	3,551	2,529	1,924	1,581	2,867	27,669
乗り物 広場 (自転車 ミニEL)	大人	2,658	3,118	1,160	949	1,549	1,893	2,882	2,260	968	1,706	1,503	2,265	22,911
	前年度	2,514	3,052	1,262	1,017	0	0	2,248	3,089	1,257	1,792	1,722	3,078	21,031
	小人	3,745	3,611	1,364	920	2,007	2,377	3,785	3,250	1,251	2,501	1,895	3,499	30,205
	前年度	3,294	3,462	1,487	1,276	0	0	2,768	3,551	1,558	2,083	1,990	4,017	25,486
	合計	6,403	6,729	2,524	1,869	3,556	4,270	6,667	5,510	2,219	4,207	3,398	5,764	53,116
	前年度	5,808	6,514	2,749	2,293	0	0	5,016	6,640	2,815	3,875	3,712	7,095	46,517
有料入館 者合計		17,963	26,165	14,392	18,615	28,777	19,280	26,037	20,035	8,247	13,005	13,019	22,269	227,804
	前年度	15,975	17,923	11,105	17,646	0	0	20,466	21,045	13,089	11,133	10,379	21,048	159,809
無料公開など		19,830	32,616	32,449	18,472	15,926	19,321	25,486	21,038	14,261	16,850	19,378	23,049	258,676
各種教室など		195	770	613	657	1,363	493	485	2,250	2,316	638	3,133	1,229	14,142
総合計		37,988	59,551	47,454	37,744	46,066	39,094	52,008	43,323	24,824	30,493	35,530	46,547	500,622

延利用者数

(単位:円)

収入 金額		5,036,320	6,639,920	3,488,320	5,586,850	8,699,440	5,502,570	6,141,180	4,724,460	2,369,340	3,725,950	3,844,430	6,292,300	62,051,080
前年度		4,577,640	4,367,160	2,867,360	5,365,580	0	0	5,222,750	5,089,200	3,380,770	3,150,450	2,980,600	6,064,850	43,066,360

収入合計

収入金額 144.1%

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

☆印は青少年と文化の連携事業

1 施設管理

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	とちぎ海浜自然の家 大規模改修工事に伴う休館 令和5(2023)年1月1日 ～令和5(2023)年6月30日	恵まれた自然の中での集団宿泊活動、野外活動、自然観察等を通して、体力の向上や豊かな情操及び社会性を培い、心身ともに健全な青少年を育成するとともに、生涯学習の振興に資することを目的として栃木県が設置した社会教育施設である。 当施設は、茨城県鉾田市の玉田海岸から太平洋を望む丘陵地に位置しており、海浜の広大な自然環境の中で宿泊を伴う多様な団体活動を行う場を提供している。	茨城県鉾田市玉田 336番地2	宿泊室：洋室47、和室4、 ロジ10 計280人宿泊可能 大学習室、小学習室、海の展示館、海の図書館、体育館アリーナ、室内温水プール、帆船型屋外アスレチック	県内在住者施設利用料 宿泊(生活館・ロジ)：中学生以下350円(学校教育活動は除く)、高校生1,250円、その他3,000円 日帰り：中学生以下100円、高校生200円、その他400円 プール：中学生以下100円、高校生200円、その他400円 光熱水費：350円 県外在住者施設利用料 宿泊(生活館・ロジ)：中学生以下700円(学校教育活動は除く)、高校生2,500円、その他6,000円 日帰り：中学生以下200円、高校生400円、その他800円 プール：中学生以下200円、高校生400円、その他800円 光熱水費：700円 など	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
1	臨海自然教室	海辺での集団宿泊や自然体験活動など様々な体験的学習を提供し、子ども及び青少年の健全育成を図る。	海浜自然の家	「海の分教場」として、海に関する教育資源を活用したプログラムを教育活動の一環として実施した。	県内小学5年生	5月～12月	27,873人	希望者全て	県内各小学校に通知	栃木県
2	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動、家族のふれあい活動などの支援を図る。	海浜自然の家	利用団体の利用目的に応じた多様な体験的学習の場を提供し、それらの支援にあたった。	学習・研修・交流・親睦等を目的とした団体(県内外)	4月～12月	11,726人	希望者全て	ホームページ、各市町・団体への利用案内やチラシの送付	栃木県
3	利用団体指導者等研修	臨海自然教室や社会教育団体等による利用の指導効果を高めるため、施設の特性や利用方法の理解を深めるとともに、活動プログラムの効果的な指導法を学ぶ。	海浜自然の家	指導者自らが活動プログラムの体験や相談会に参加し、指導法を学ぶとともに、施設の特性等を理解していただいた。	・臨海自然教室 実施校教員 ・社教団体指導者	1回 4/21(木)	34名	希望者全て	県内各小学校、県内外各種団体に通知	栃木県
○ 4	海釣り&ひぬまでイカダ乗り	海釣りや涸沼でのイカダ乗りなどの体験活動とおし、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家 近隣の海岸 涸沼	施設近隣の海釣りや涸沼でのイカダ乗りを楽しんだ。	栃木県民 (小学4年生以上)	1回 5/7(土)～ 5/8(日)	78名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	定員	選定方法	周知方法	委託元
○ 5	海浜メロン狩り	地元特産のメロン狩りなどの体験活動とおして、収穫の喜びを味わうとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家 近隣のビニルハウス	メロン生産量日本一の銚田市でのメロン狩り体験やメロンの試食、その他体験プログラムを実施した。	栃木県民	1回 6/4(土)～ 6/5(日)	115名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 6	海浜夏まつり	海をもたない栃木県民が、海にかかわる体験活動とおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家	地引き網体験やおまつり広場、海浜で夏のイベントなどを実施した。	栃木県民	1回 7/10(土)～ 7/11(日)	193名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 7	とちぎ・いばらき協力地引綱	栃木県と茨城県の家族(親子)が、海での自然体験や交流活動とおして、自然のすばらしさを体感するとともに、仲間とのふれあいや協力することの大切さを学ぶ。	海浜自然の家	栃木県と茨城県の家族(親子)による交流や宿泊・自然体験活動を実施した。	栃木県・茨城県の家族(親子)	1回 8/20(土)～ 8/21(日)	123名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内やチラシの送付	栃木県
○ 8	海浜どきどきキャンプ	野外調理、テントでの宿泊などの体験活動を通して、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間相互のつながりを築き、協力することの大切さや成し遂げる喜びを実感する。	海浜自然の家	テントでの宿泊を中心に、キャンプファイヤーや野外調理などを取り入れた自然体験活動を実施した。	栃木県民 (小学生以上)	1回 9/10(土)～ 9/11(日)	49名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 9	海浜秋まつり	秋の味覚や収穫する喜びを味わうなどの体験活動とおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家 近隣の畑	銚田市名産のサツマイモ掘り体験や焼きいも試食、マグロの解体ショー鑑賞など、秋の味覚を満喫できた。	栃木県民	1回 10/15(土)～ 10/16(日)	162名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 10	めざせ！釣り名人	涸沼や海に親しみふれあうことで、多様な自然を通し家族や仲間との親交を深める。	海浜自然の家 涸沼	玉田海岸や涸沼での釣りやナイトハイクなど、普段は体験できない活動を体験できた。	栃木県民 (小学4年生以上)	1回 11/12(土)～ 11/13(日)	46名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内やチラシの送付	栃木県
○ 11	海浜冬まつり	冬の味覚を味わうことや、活動プログラムを体験することをおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家	「あんこう吊し切り」実演鑑賞やあんこう汁などの冬の味覚を満喫できた。	栃木県民	1回 12/17(土)～ 12/18(日)	100名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
12	出前事業	海浜自然の家の魅力をPRするとともに、創作系等のプログラムを実施する。	希望校	「貝の根付け」等の創作活動を実施した。	栃木県内の小学校 (第4学年～第5学年)	1回 1月24日(火) 2回 2月10日(金)	25名	希望校全て	県内各小学校に通知	栃木県

令和4(2022)年度 とちぎ海浜自然の家 利用状況

1 利用者数

(人数:人 / 金額:円)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
未就学児	県内	4	47	54	108	17	32	6	12	26	0	0	0	306
	県外	0	6	3	401	67	0	8	0	0	0	0	0	485
	延利用者数	4	53	57	509	84	32	14	12	26	0	0	0	791
(小 臨海 学生)	県内	0	3,757	5,703	2,949	0	2,048	2,384	4,443	3,498	0	0	0	24,782
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	3,757	5,703	2,949	0	2,048	2,384	4,443	3,498	0	0	0	24,782
小学生	県内	289	31	14	1,282	995	132	190	105	0	0	0	0	3,038
	県外	100	12	2	515	966	698	632	111	40	0	0	0	3,076
	延利用者数	389	43	16	1,797	1,961	830	822	216	40	0	0	0	6,114
中学生	県内	82	53	2	62	37	13	51	0	0	0	0	0	300
	県外	211	112	0	158	17	5	8	38	70	0	0	0	619
	延利用者数	293	165	2	220	54	18	59	38	70	0	0	0	919
高校生等	県内	270	9	0	57	8	0	7	0	0	0	0	0	351
	県外	198	0	0	20	8	57	120	0	0	0	0	0	403
	延利用者数	468	9	0	77	16	57	127	0	0	0	0	0	754
その他	県内	121	583	761	735	383	386	468	526	580	0	0	0	4,543
	県外	96	104	4	286	297	413	353	132	11	0	0	0	1,696
	延利用者数	217	687	765	1,021	680	799	821	658	591	0	0	0	6,239
合計	県内	766	4,480	6,534	5,193	1,440	2,611	3,106	5,086	4,104	0	0	0	33,320
	県外	605	234	9	1,380	1,355	1,173	1,121	281	121	0	0	0	6,279
	延利用者数	1,371	4,714	6,543	6,573	2,795	3,784	4,227	5,367	4,225	0	0	0	39,599
	利用料収入	1,133,400	1,357,900	1,334,600	2,617,750	1,870,200	1,951,050	2,115,100	1,256,200	1,109,700	0	0	0	14,745,900
前年度	延利用者数	612	2,212	5,439	3,126	1,904	0	2,453	3,715	5,242	1,023	0	1,161	26,887
	利用料収入	419,500	696,900	1,365,600	1,529,100	1,528,200	0	471,550	931,250	1,622,900	684,850	0	524,850	9,774,700

延利用者数

2 プール利用

施設利用人数	190	124	354	728	644	38	147	121	72	0	0	0	2,418
施設利用収入	32,600	14,400	45,900	91,100	119,300	10,300	19,300	21,300	14,700	0	0	0	368,900

3 その他

光熱水費相当額	281,400	926,100	1,327,550	1,349,600	498,750	712,250	812,350	1,100,750	933,450	0	0	0	7,942,200
リネン料	108,000	400,600	490,600	482,800	203,000	310,000	365,000	431,600	286,800	0	0	0	3,078,400
体験活動費	15,560	473,140	659,449	528,800	167,680	424,920	626,300	670,960	621,550	0	0	0	4,188,359

4 利用料収入合計

利用料収入合計	1,570,960	3,172,140	3,858,099	5,070,050	2,858,930	3,408,520	3,938,050	3,480,810	2,966,200	0	0	0	30,323,759
前年度	613,250	1,560,812	3,500,880	2,552,340	2,216,620	0	1,378,820	2,514,890	3,639,310	1,012,125	0	966,160	19,955,207

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	40,940	544,100	736,250	986,800	649,750	241,600	1,058,000	248,130	547,400	7,650	3,200	0	5,063,820
前年度	49,010	1,053,450	662,940	657,400	0	0	315,900	722,200	0	735,450	0	0	4,196,350

6 収入総合計

収入総合計	1,611,900	3,716,240	4,594,349	6,056,850	3,508,680	3,650,120	4,996,050	3,728,940	3,513,600	7,650	3,200	0	35,387,579
前年度	662,260	2,614,262	4,163,820	3,209,740	2,216,620	0	1,694,720	3,237,090	3,639,310	1,747,575	0	966,160	24,151,557

収入総合計

146.52%

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	なす高原自然の家	<p>青少年の団体宿泊訓練をはじめとする県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全な育成と生涯学習の充実を図ることを目的として栃木県が平成16年に設置した社会教育施設である。</p> <p>日光国立公園の最北端、那須郡那須町にあり、標高1,915mの茶臼岳を背景に、眼下に那須野が原、遠く八溝・筑波の山嶺が一望できる標高1,030mの高所に位置し、那須高原の豊かな自然の中で、四季を通じて登山、ハイキング、スノーシューハイキングなど各種の自然体験活動ができる。</p>	那須郡那須町湯本157	<p>宿泊室：洋室25、和室5、バリアフリー室5、講師洋室4、講師和洋室1計200人宿泊可能</p> <p>大研修室、中研修室、小研修室、体育館、体験プラザ</p>	<p>○宿泊料（県内在住者）：中学生以下 500円（学校教育活動等の一環として利用する場合は無料）、高校生 1,000円、大学生 2,000円、その他 2,500円（県外は別料金）</p> <p>○日帰り団体の施設利用料：大研修室 4,930円～、中研修室 1,850円～、小研修室 1,230円～、体育館・体験プラザ 2,050円～（学校教育活動等の一環として利用する場合は無料（県外含む））</p>	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
1	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動などの支援を図る。	なす高原自然の家	利用団体の様々な研修目的に応じた多様な学習の場を提供し、研修活動を支援した。	研修を目的とした県内の団体	通年	25,376名	希望者全て	ホームページ、各市町・団体への利用案内やチラシの送付	栃木県
2	利用団体指導者研修週間	利用団体の指導者を対象に研修を行い、利用団体が安全・安心な活動ができるよう図る。	なす高原自然の家 ほか	施設案内、活動プログラムや活動のポイント紹介。併せて登山の研修も計画した。	利用団体の指導者	5/9（土）～5/15（日）	31名	希望者全て	利用予約団体への通知	栃木県
○ 3	ウインディクラブトクラブ	施設周辺の新緑・自然に親しむとともに、各回ごとに創作活動を提案し作品作りをおおして、家族・仲間のふれあいを深める。	なす高原自然の家	本所の創作活動を数種類用意し、希望する活動を選択できるようにした。	県内外の家族 18歳以上の方	5/3（火） 5/4（水） 5/5（木） 日帰り	4名	希望者全て	ホームページ、ポスターの掲示、県広報誌等への掲載、各市町・関係機関への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 4	ウインディボランティア研修	ボランティアとしての知識・技能を習得する研修を実施し、社会貢献活動の促進と施設ボランティアの育成を図る。	なす高原自然の家	ボランティアに関する講義及び登山・創作活動などの実習等を行った。	県内外の 18歳以上の方 (大学生以上)	5/15（土）～5/16（日）	中止	抽選	ホームページ、ポスターの掲示、県広報誌等への掲載、各市町・関係機関への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 5	ふれあい登山教室	登山の基礎知識・基礎技術の習得を図りながら、登山の楽しさを味わい、参加者相互の交流を図る。	なす高原自然の家	初心者、中級者を対象に、登山についての講義や登山を実施した。	県内外の 18歳以上の方	6/4（土）～6/5（日）	18名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
○ 6	ファミリー登山教室	家族で登山の基礎技術及び火山や防災に関する基礎技術の習得を図るとともに、皆で茶臼岳登頂を目指すことで、参加者相互の交流を図る。	なす高原自然の家 ほか	防災教育に関する講義、テント生活体験、茶臼岳登山を実施した。	県内外の家族 (小学生以上)	8/6 (土) ～8/7 (日)	29名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 7	こどもチャレンジキャンプ	様々な体験活動をおし、仲間を作ることを、協力することの大切さを学び、たくましく生き抜く力を身につける。	なす高原自然の家	子どもたちだけで、創作活動や仲間と協力して取り組む調理活動等を行った。	小学5、6年生	11/5 (土)～ 11/6 (日)	30名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 8	ふれあい広場	保護者同士の情報交流会やレクレーションなどをおして、特別な支援を要する方とその家族間の交流及びボランティアとの交流を深める。	なす高原自然の家	保護者同士の情報交流会や参加者同士の交流を深める活動を実施した。	特別な支援を要する方(児童・生徒も含む)とその家族	11/26 (土) ～11/27 (日)	28名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 9	クリスマスファミリーデー	クリスマスにちなんだ体験活動をおして、家族の交流を深める。	なす高原自然の家	クリスマスリース作りなどの創作活動やブッシュドノエルなどのクリスマス調理活動を行った。	県内外の家族	12/10 (土)～ 12/11 (日)	43名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 10	冬のファミリーデー①②	冬的那須の自然とふれあいながら、家族の交流を深める。	なす高原自然の家	ミニかまくら作り、スノーシューハイキングなどの自然体験活動を計画した。	県内外の家族	2回 ①1/21 (土) ～1/22 (日) ②2/11 (土) ～2/12 (日)	①35名 ②85名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 11	スノーシューハイキング	自然の家周辺をスノーシューでハイキングすることで、冬的那須の自然とふれあいながら、雪上活動を楽しむ。	なす高原自然の家	ミニかまくら作り、スノーシューハイキングなどの自然体験活動を実施した。	県内外の家族 18歳以上の方	1/29 (日) 2/18 (土) 2/25 (日)	13名	希望者全て	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

令和4(2022)年度 なす高原自然の家 利用状況

1 利用者数

(人数:人 / 金額:円)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
未就学児	県内	0	156	0	163	0	48	219	0	0	22	68	3	679
	県外	0	0	0	52	74	48	0	0	0	52	74	0	300
	延利用者数	0	156	0	215	74	96	219	0	0	74	142	3	979
小学生	県内	0	783	1,866	1,392	215	1,311	2,361	970	557	407	498	153	10,513
	県外	26	0	0	27	378	410	367	74	216	88	86	0	1,672
	延利用者数	26	783	1,866	1,419	593	1,721	2,728	1,044	773	495	584	153	12,185
中学生	県内	1,284	502	1,842	308	45	788	18	562	0	527	258	360	6,494
	県外	0	0	0	62	135	0	0	40	154	0	8	0	399
	延利用者数	1,284	502	1,842	370	180	788	18	602	154	527	266	360	6,893
高校生等	県内	0	47	0	158	113	9	6	0	0	1	3	83	420
	県外	0	0	0	223	93	0	184	0	3	0	6	0	509
	延利用者数	0	47	0	381	206	9	190	0	3	1	9	83	929
大学生等	県内	0	20	0	0	98	29	224	0	2	18	22	22	435
	県外	0	0	0	0	3	0	0	0	12	8	4	0	27
	延利用者数	0	20	0	0	101	29	224	0	14	26	26	22	462
その他	県内	140	317	456	414	215	379	445	176	96	176	212	91	3,117
	県外	112	76	0	168	151	76	101	28	29	22	48	0	811
	延利用者数	252	393	456	582	366	455	546	204	125	198	260	91	3,928
合計	県内	1,424	1,825	4,164	2,435	686	2,564	3,273	1,708	655	1,151	1,061	712	21,658
	県外	138	76	0	532	834	534	652	142	414	170	226	0	3,718
	延利用者数	1,562	1,901	4,164	2,967	1,520	3,098	3,925	1,850	1,069	1,321	1,287	712	25,376
	利用料収入	575,500	482,000	517,500	1,422,000	1,482,000	811,000	1,577,500	269,500	440,500	294,000	342,000	226,800	8,440,300
前年度	延利用者数	1,178	866	2,177	2,652	292	78	2,840	3,059	1,136	262	369	413	15,322
	利用料収入	944,500	72,500	365,500	1,147,000	272,000	0	532,000	502,000	95,000	101,200	73,200	308,800	4,413,700

延利用者数

2 施設利用

施設利用件数	110	105	220	225	133	171	213	140	26	72	75	86	1,576
施設利用収入	0	4,930	4,930	0	1,230	6,160	0	1,640	0	1,640	0	0	20,530

3 その他

光熱水費相当額	365,930	377,110	893,110	654,890	379,690	501,380	818,290	311,320	199,520	205,970	169,420	194,360	5,070,990
リネン料	195,720	245,560	486,920	350,560	168,560	294,000	488,040	182,560	98,000	134,120	110,320	71,680	2,826,040
体験活動費	135,950	315,110	580,440	342,950	68,780	370,190	519,720	333,100	153,500	58,350	21,250	4,500	2,903,840

4 利用料収入合計

利用料収入合計	1,273,100	1,424,710	2,482,900	2,770,400	2,100,260	1,982,730	3,403,550	1,098,120	891,520	694,080	642,990	497,340	19,261,700
前年度	1,480,080	470,380	1,273,960	2,193,720	428,130	25,730	1,887,900	1,810,210	495,690	194,930	198,090	453,970	10,912,790

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	0	700	161,800	0	201,250	0	0	304,500	250,650	154,680	392,650	0	1,466,230
前年度	0	91,500	214,900	0	0	0	291,100	133,400	318,850	0	39,000	0	1,088,750

6 主催事業収入合計

収入総合計	1,273,100	1,425,410	2,644,700	2,770,400	2,301,510	1,982,730	3,403,550	1,402,620	1,142,170	848,760	1,035,640	497,340	20,727,930
前年度	1,480,080	561,880	1,488,860	2,193,720	428,130	25,730	2,179,000	1,943,610	814,540	194,930	237,090	453,970	12,001,540

収入総合計

172.71%

5 文化振興関係事業

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業
☆印は青少年と文化の連携事業

1 コンクール

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	選定方法	周知方法	備考
1	〈全国発信型事業〉 とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 第26回コンセル・マロニエ21	とちぎから全国へ発信する事業の一環として、新進演奏家を支援するとともに、県内演奏家のレベルアップを図る。	栃木県総合文化センター／メインホール ほか	①声楽、②ピアノ、③弦楽器、④金管楽器、⑤木管楽器の5部門を毎年1部門ずつ順番に実施する。2022年度は声楽部門を行った。	各部門で年齢的な対象を設定するが、それ以外は特に制約はない。(在住地・国籍不問)	年1回 「動画審査」7月10日(日) 「オーディション」8月13日(土) 「本選・表彰式・情報交換会」10月15日(土)	(参加者)動画審査57名 (通過者34名※1名辞退) オーディション33名 本選8名 (入場者)オーディション60名 本選88名	動画審査(非公開)、オーディション(公開)、本選(公開)の3段階審査により入賞者を決定する。	参加要項リーフレット・ポスター等を全国の文化施設や高校・大学の音楽科、県内の生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。音楽専門雑誌への広告掲載。ホームページほか。	音楽
☆ 2	とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 第15回栃木県ジュニアピアノコンクール	栃木県内でピアノを学ぶ小学～高校生の研鑽意欲を高め、ジュニア世代のピアノ演奏技術の向上とクラシック音楽への普及啓発を図る。	予選：栃木県総合文化センター／サブホール 本選：栃木県総合文化センター／メインホール	前身の「栃木県ピアノコンクール」から31年の歴史と実績を生かし、子どもたちの豊かな感性をより育める内容でコンクールを実施した。参加部門は①小学1・2年生、②3・4年生、③5・6年生、④中学生、⑤高校生の5部門。	県内の小学生から高校生のピアノ実演者	年1回 「予選」8月7日(日)、9日(火)、10日(水) 「本選」11月6日(日)	(参加者)予選117名 本選50名	予選(公開)、本選(公開)の2段階審査により入賞者を決定する。	参加要項リーフレット・ポスター等を県内の文化施設、生涯学習施設、図書館、市町、マスコミ、楽器店へ郵送。ホームページほか。	音楽

2 講習会、セミナー等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
☆ 1	とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 栃木県ジュニアピアノコンクール「課題曲講座」	県内の小学生から高校生までのピアノ実演者とその指導者の技術の向上とクラシック音楽の普及啓発を図る。	栃木県総合文化センター／リハーサル室	①小学1・2年生、②3・4年生、③5・6年生、④中学生の4部門毎に、コンクール課題曲を中心にしたピアノ演奏実技の講習を行った。	栃木県ジュニアピアノコンクールへ参加を希望している者。(保護者・指導者含む)	年1回 5月3日(火・祝)	73名	申込順 (高校生以上受講料あり)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
2	「とちぎアーティストバンク」設立・運営事業	県ゆかりのアーティスト・団体の活動支援及び県内文化事業における活用を促進することを目的とする。	栃木県総合文化センター ホームページ	県ゆかりのアーティスト及び文化団体の情報をインターネットで閲覧できるようにするサイトの立ち上げ及び運営業務を県から受託した。	一般	通年	なし	—	県政及び財団広報全般のほかマスコミ等への情報提供ほか。	文化情報収集・提供

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
○ 3	マロニエ文化まなびのひろば「考古学セミナー」～遺跡を掘って考える～	埋蔵文化財や地域の歴史、過去の人々の生活への理解と関心の喚起を図る。	栃木県総合文化センター特別会議室	テーマを決め、埋蔵文化財センターの専門職員による考古学講座を行った。	一般	年3回 第1回 12月10日(土) 第2回 1月8日(日) 第3回 2月18日(土)	第1回30名(申込37名) 第2回44名(申込54名) 第3回37名(申込52名)	申込順(有料)	募集チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。ホームページほか。	考古学

3 ワークショップ

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
1	とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 栃木県楽友協会「第九」合唱ワークショップ 《中止》	クラシック音楽及び合唱への関心の喚起を図るとともに、県民合唱実演者及び観客の育成に取り組む。	栃木県総合文化センター／リハーサル室ほか	ベートーヴェン交響曲第9番4楽章の合唱部分を学ぶワークショップ。ソプラノ、メゾ・ソプラノ、テノール、バス・バリトンの4声種に分け、合唱団を編成し、栃木県楽友協会所属の指導者による発声・合唱を行う。参加者は、12月18日(日)開催の「栃木県楽友協会『第九』演奏会」に出演する。	栃木県民(高校生以上)の合唱実演者	年8回 (10月～12月)	80名 (各声種20名程度)	申込多数の場合抽選(有料)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※R4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
☆ 2	第10回ミュージカルワークショップ	栃木県における子ども達へのミュージカルの振興を図るとともに関心を喚起し、ミュージカル団体の活動を広く県民に周知する。	なす高原自然の家	宿泊によるワークショップを、とちぎミュージカル協会所属の指導者による歌・ダンス・芝居を組み合わせたプログラムで行った。	宿泊が可能な小学3年生程度～高校生までの児童・生徒	年1回 3月25日(土)～ 3月27日(月)	74名	申込順(有料)	募集チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。ホームページほか。	ミュージカル

4 鑑賞型文化振興事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
1	【いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム】古典芸能三人会～栃木県文化功労者の舞台～	栃木県の古典芸能部門における文化功労者の芸を広く県民が鑑賞する機会を提供することを通して、古典芸能の普及啓発及び継承を図ることを目的とする。	栃木県総合文化センター／メインホール	文化功労者能楽(謡曲)安久都和夫氏、吟詠剣詩舞 鈴木凱山氏、邦楽(箏曲)和久文字氏らの出演により、とちぎの古典芸能の各部門最高峰の芸の披露とともに、芸の発展継承を図るため門下生とのコラボレーションを行なった。	一般	年1回 4月30日(土)	鑑賞者：431名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内外の音楽大学等及び県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
2	【いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム】とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】第2回栃木県新人音楽家演奏会 ―未来にはばたけとちぎの音楽人―	県内及び首都圏の音楽大学等と連携し、栃木県ゆかりの新人音楽家に演奏発表の機会を提供し、本県音楽文化の担い手の育成を図るとともに、演奏者の栃木県における音楽活動を支援することにより、栃木県音楽文化の振興・発展に寄与する。	栃木県総合文化センター／メインホール	栃木県総合文化センター開館30周年記念事業として開始し、第2回目を迎える。音楽大学等(上野学園大学/国立音楽大学/昭和音楽大学/洗足学園音楽大学/東京音楽大学/東京藝術大学/東邦音楽大学/桐朋学園音楽大/武蔵野音楽大学)学部新卒者による演奏会を行った。	出演者：栃木県出身者、県内の小中学校・高等学校いずれかの卒業生または栃木県内の大学等に通学する者 鑑賞者：一般・学生及び生徒	年1回 5月15日(日)	出演者：15名 入場者：446名	一般：入場券購入 学生及び生徒：無料	チラシ・ポスターを県内外の音楽大学等及び県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
3	とちぎアーティストバンク設立記念♪元気発信コンサート	音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県庁 議事棟1階	「とちぎアーティストバンク」関連事業として「県民の日記念イベント」に合わせて、バンク登録者等によるコンサートを開催した。	一般	年1回 6月11日(土)	出演者：5組	無料	チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
4	平日の贈り物♪ランチタイムコンサート	クラシック音楽等の普及啓発を促進するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／サブホール	平日昼間に開催する、休憩なし60分コンサート。チケット提示により、会場周辺のパートナー店によるサービスも提供。 ①Vol. 41「下司愉生起リサイタル」(声楽) ②Vol. 42「阿久澤政行ピアノ・リサイタル」 ③Vol. 43「櫻井亜木子-薩摩琵琶の調べ」 ④Vol. 44「Neo Hycladコンサート」(Yui (Vn) & 志野文音 (G)) ⑤Vol. 45「松島啓之(Tp) & 田中菜緒子(P) ジャズライブ」	一般	年5回 ①Vol. 41：6月15日(水) ②Vol. 42：9月15日(木) ③Vol. 43：12月9日(金) ④Vol. 44：1月27日(金) ⑤Vol. 45：3月3日(金)	①243名 ②205名 ③164名 ④134名 ⑤215名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※Vol. 41～43は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム事業」として実施
5	松竹歌舞伎舞踊公演 《中止》	日本舞踊の普及啓発を促進するとともに、舞台芸術機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	全国公立文化施設協会の企画として例年実施している松竹大歌舞伎が、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できないため、代替として小規模の日本舞踊公演を実施する。出演/中村芝翫他	一般	年1回 7月20日(水)	—	入場券購入	チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能 ※R4年度は公演関係者に体調不良者が出たため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
6	人形劇団ひとみ座公演「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」	良質な人形劇を鑑賞する機会を提供することによって、家族での舞台芸術鑑賞のきっかけづくりに役立てる。	栃木県総合文化センター／メインホール	人気の児童図書を原作とした、劇場ならではのスケールが大きい親子で楽しめる人形劇を上演した。	一般	年1回 8月21日(日)	535名	入場券購入	チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	人形劇
7	【いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム】とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 栃木県交響楽団特別演奏会	クラシック音楽の普及啓発を促進し、舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、若手演奏家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文化センター／メインホール	「コンセール・マロニエ21」入賞者支援の一環として、同コンクール優勝者等をコンチェルトソリストに迎え、県民オーケストラによる演奏会を開催した。ソリストは第25回木管楽器部門第2位入賞者、田中紗貴(フルート)。	一般	年1回 9月11日(日)	427名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
☆ 8	とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 ～音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！～ 学校訪問演奏会	児童生徒へのアウトリーチ事業として、クラシック音楽等の普及啓発を図る。	県内小・中・義務教育学校／体育館・音楽室等	「コンセール・マロニエ21」県内入賞者で県内外で活躍するプロのアーティストが、県内の小・中学校を訪問し、トークやレクチャーを交えて音楽のすばらしさを子ども達に紹介するクラシック演奏会(声楽)を実施した。	下都賀・安足地区の小学生・中学生・義務教育学校生	年2回 ①10月3日(月) 足利市立第二中学校 ②10月26日(水) 小山市立豊田小学校・豊田中学校(小中合同開催)	①足利市立第二中学校：255名 ②小山市立豊田小学校・豊田中学校：332名	—	開催学校へ通知。学校から生徒・保護者・地域住民等に周知。	音楽
9	オペラ・ユニットカントキューブリサイタル「LOVE」	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	日本のオペラ界を担う三人(テノール/隠岐速人、バリトン/高橋洋介(第19回コンセール・マロニエ21第1位)、バスバリトン/後藤春馬)とマルチ・ピアニスト長井進之介がオペラの名アリア、日本のうた、ロックなど名曲を演奏した。	一般	年1回 11月3日(木祝)	285名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
10	栃木県総合文化センター狂言シリーズ第26弾! 人間国宝野村万作の「狂言 万作の会」	狂言の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール 特設能舞台	人間国宝 野村万作と萬齋、裕基親子三代出演の狂言と、野村萬齋による狂言鑑賞講座を行った。	一般	年1回 11月25日(金)	784名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能
11	とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】 第13回栃木県楽友協会『第九』演奏会 《中止》	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	栃木県楽友協会合唱団(栃木県オペラ協会及び公募で編成された合唱団)と、栃木県楽友協会管弦楽団(栃木県交響楽団等)、栃木県ゆかりのソリストによる、オールとちぎの『第九』演奏会を行う。	一般	年1回 12月18日(日)	—	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止。

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	
12	藤田真央(Pf)ブレイズ・モーツァルト with オーケストラ・アンサンブル金沢	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	チャイコフスキー国際ピアノコンクール第2位入賞を始め数々の入賞歴により世界中のオーケストラとの共演を果たす藤田真央が日本屈指のオーケストラとともにモーツァルトプログラムを演奏した。	一般	年1回 1月15日(日)	1,260名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
☆ 13	とちぎ舞台芸術アカデミー2022【音楽部門】フレッシュアーティスト・ガラ・コンサート	クラシック音楽の普及啓発を図り、舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、若手演奏家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文化センター／サブホール	「第26回コンセール・マロニエ21」及び「第15回栃木県ジュニアピアノコンクール」の上位入賞者による演奏会を行った。	一般	年1回 1月29日(日)	180名	入場整理券(申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

5 共催文化振興事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
☆ 1	第15回ミュージカルフェスティバル	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、県内ミュージカル団体の活動を広く周知する。	栃木県総合文化センター／メインホール	とちぎミュージカル協会加盟6団体と「第9回ミュージカルワークショップ」参加者による創作ミュージカル公演を行った。	一般	年1回 4月17日(日)	412名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル
2	第25回しもつけ写真大賞展	写真の普及啓発を図るとともに、写真愛好家の意欲の高揚を図る。	栃木県総合文化センター／ギャラリーほか	県民から一般募集した作品の審査及び展示を行った。	応募対象は一般県民(有料)	年1回 5月7日(土)～15日(日)	1,528名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	写真
3	小椋佳ファイナル・コンサート・ツアー	軽音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	日本が誇るシンガーソングライター小椋佳がデビュー50周年を節目にラストコンサートを行った。	一般	年1回 5月22日(日)	1,308名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
4	劇団四季 ロボット・イン・ザ・ガーデン	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	劇団四季によるミュージカル公演を行った。	一般	年1回 6月25日(土)	1,282名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル
5	T.M.Revolutionコンサート	軽音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	シンガー・俳優・作詞家とマルチに活動する西川貴教がデビュー25周年を記念してコンサートツアーを行った。	一般	年1回 6月26日(日)	879名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
6	鼓童ワン・アース・ツアー2022～童	伝統音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	世界で認められた伝統的な和太鼓集団鼓童が創立40周年を記念してコンサートツアーを行った。	一般	年1回 7月2日(土)	557名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
7	【いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム県主催特別企画事業】みんなで育む“とちぎ”のたからミュージカルしもつけ王国物語	舞台芸術活動の普及啓発を促進するとともに、とちぎ国体・とちぎ大会の機運の醸成を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	とちぎを題材とした県内小・中学生参加のオリジナルミュージカルを上演した。	一般	年1回 8月11日(木・祝)	1,100名	入場券整理券	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル
☆ 8	ニーナ・アナニアシヴィリバレエワークショップ	県内小学～高校生のバレエ実演者に世界の優れた指導者から直接指導を受ける機会を設け、バレエの技術習得の向上と普及啓発を図る。	栃木県総合文化センター／リハーサル室	20世紀を代表するバレリーナ、ニーナ・アナニアシヴィリを講師に迎えてバレエワークショップを行った。	一般	年1回 8月18日(木)・19日(金)	(参加者) クラスⅠ (小5～中学) 27名 クラスⅡ (中2～30歳) 27名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	舞踊
9	劇団日穂公演「月虹の宿」	演劇の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／サブホール	栃木県出身岩瀬頭子が主宰する劇団日穂がとちぎゆかりの出演者を交えてオリジナル作品の上演を行った。	一般	年1回(3回公演) 8月19日(金)・20日(土)	3回公演 計635名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	演劇
10	田原俊彦コンサート	軽音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	永遠のアイドル田原俊彦が生誕60周年を記念してコンサートツアーを行った。	一般	年1回 8月27日(土)	968名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
11	林部智史コンサート	軽音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	琴線に触れる歌でロングセラーを誇る林部智史がコンサートを行った。	一般	年1回 9月17日(土)	566名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
12	イープラス presents 『ピアノの森』ピアノコンサート	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／サブホール	漫画『ピアノの森』で紹介されるピアノ独奏曲を高木竜馬が演奏した。	一般	年1回 9月25日(日)	371名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
13	落語「二人会」	落語の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	人気落語家、春風亭昇太ほかによる落語公演を行った。	一般	年1回 9月28日(水)	459名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
14	(公社)宇都宮法人会・関東信越税理士会宇都宮支部 秋季講演会	著名文化人による講演会の聴講機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	俳優別所哲也による文化講演会を行った。	一般	年1回 11月8日(火)	364名	入場整理券(申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	講演会
15	宮田大チェロ・リサイタルwithジュリアン・ジェルネ	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	日本を代表するチェリスト宮田大がジュリアン・ジェルネ(Pf)とともにコンサートをを行った。	一般	年1回 11月23日(水祝)	1,260名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
16	サンクトペテルブルク・バレエ・アカデミー 『白鳥の湖-全3幕-』 《中止》	クラシックバレエの普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	バレエの本場ロシアよりワガノワ・スタイルの伝統と革新を併せ持つ名劇場の来日。チャイコフスキーの大傑作「白鳥の湖」全幕公演を行う。	一般	年1回 12月12日(月)	—	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	舞踊 ※R4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
17	南こうせつ&森山良子プレミアムコンサート	軽音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	「神田川」「夢一夜」等のヒット曲で知られるフォーク界の第一人者南こうせつが森山良子をゲストに迎えてコンサートをを行った。	一般	年1回 2月5日(日)	1,012名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
18	反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ コンサートツアー2023	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	日本を代表するピアニスト反田恭平が中心になって立ち上げたオーケストラの公演を行った。	一般	年1回 2月17日(金)	1,536名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	舞踊
19	松山バレエ団公演 『ロミオとジュリエット』	クラシックバレエの普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	創立75年の伝統を誇る松山バレエ団の代表作「ロミオとジュリエット」公演を行った。	一般	年1回 2月23日(木祝)	1,075名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	舞踊
20	辻井伸行ピアノリサイタル	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	日本を代表するピアニスト辻井伸行がソロコンサートをを行った。	一般	年1回 2月24日(金)	1,549名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
21	第46回栃木県文化振興大会	文化活動関係者の意欲の高揚を図るとともに、文化行政への理解の促進を図る。	黒磯文化会館	県内の文化活動関係者が一堂に会して実施する文化交流大会の助成を行った。	一般	年1回 12月21日(水)	なし	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	文化振興
22	第29回栃木県郷土芸能大会	郷土芸能の普及啓発を図るとともに、鑑賞機会の提供を図る。	鹿沼市民文化センター	県内の郷土芸能団体による発表大会の助成を行った。	一般	年1回 2月12日(日)	330名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	郷土芸能

予定：42事業75公演 実施：38事業64公演 中止：4事業11公演

6 埋蔵文化財センター事業

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

☆印は青少年と文化の連携事業

1 受託事業（施設）

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	栃木県埋蔵文化財センター	県内における埋蔵文化財の保護及び調査研究、保存活用、知識の普及啓発、市町支援・連携を行うことによって、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に埋蔵文化財に関する県の中核的施設として栃木県が設置している。	下野市紫 4 7 4 番地	常設展示室、研修室、図書室、学習室、研究室、保存処理分析室、整理室、記録保管室、情報処理室、写場・暗室、搬入室、洗浄室、収蔵庫、木器室、金属器室、事務室等	常設展示室、研修室、図書室、学習室：無料	栃木県

2 発掘調査事業

No.	事業名（遺跡名）	調査の原因	所在地	遺跡の性格・時代	発掘調査の内容	契約期間	委託元
1	重要遺跡等範囲確認調査	県営圃場整備地内遺跡確認調査	小山市塚崎・田間地区	古墳～中世散布地	県営圃場整備事業の実施に先立ち、計画地内に存在する遺跡の範囲確認等の確認調査を実施した。	R4. 10. 3～R5. 3. 30	栃木県
2	重要遺跡等範囲確認調査（侍塚古墳）	いにしへのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト	大田原市湯津上地区	古墳時代古墳	国指定史跡である侍塚古墳の範囲等確認調査を実施した。	R4. 4. 1～R5. 3. 30	栃木県
3	下津原古墳群	栃木県教育委員会が計画する新青少年教育施設整備事業	栃木市岩舟地区	古墳時代、近世古墳・窠跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R4. 6. 1～R5. 3. 30	栃木県
4	城ノ内遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般県道結城石橋線多功工区の事業	上三川町多功地区	奈良・平安時代、中世～近世集落跡・城館跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査と発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業を実施した。	R4. 4. 1～R5. 3. 30	栃木県
5	栗宮宮内遺跡	栃木県県土整備部が計画する主要地方道小山環状線栗宮南工区の事業	小山市栗宮地区	古墳時代～中・近世集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R4. 4. 1～R5. 3. 30	栃木県
6	下飯貝遺跡	栃木県県土整備部が計画する国道121号京泉Ⅱ工区の事業	真岡市京泉地区	縄文時代・中世～近世集落跡・城館跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R4. 4. 1～R5. 3. 30	栃木県
7	天神遺跡	栃木県県土整備部が計画する主要地方道栃木二宮線大宮バイパス第2工区の事業	栃木市大宮町地内	奈良・平安時代集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R4. 5. 25～R5. 3. 31	栃木県
8	小泉分校裏遺跡ほか	栃木県農政部が計画する農地整備事業	益子町小泉・本沼地区	縄文～奈良・平安時代集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査と発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R4. 4. 1～R5. 3. 30	栃木県

No.	事業名（遺跡名）	調査の原因	所在地	遺跡の性格・時代	発掘調査の内容	契約期間	委託元
9	篠崎遺跡	栃木県農政部が計画する農地整備事業	下野市 薬師寺・柴地区	奈良・平安時代 集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R4. 9. 1～R5. 3. 30	栃木県
10	塚原遺跡・塚原古墳群	国土交通省が計画する国道4号矢板拡幅事業	矢板市 早川町地区	縄文時代～中世 集落跡・古墳・城館跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R4. 5. 25～R5. 3. 31	国土交通省
11	粟宮新都心区画整理事業地内遺跡	小山市が計画する粟宮新都心区画整理事業地内の確認調査	小山市 粟宮地区	古墳～奈良・平安時代 集落跡	土地区画整理事業の実施に先立ち、計画地内に存在する遺跡の範囲確認等の確認調査を実施した。	R4. 8. 1～R5. 3. 31	小山市
12	佐野市遺跡詳細分布調査	佐野市全域において埋蔵文化財包蔵地を把握するための、遺跡詳細分布調査及び整理・報告書作成	佐野市 全地区	旧石器時代～近世 散布地外	市全域を4カ年計画で踏査し、遺跡の所在と各遺跡の範囲、性格を調査した。1年目。	R4. 12. 1～R5. 2. 28	佐野市
13	塩谷町遺跡詳細分布調査	塩谷町全域において埋蔵文化財包蔵地を把握するための、遺跡詳細分布調査及び整理・報告書作成	塩谷町 全地区	旧石器時代～近世 散布地外	市全域を4カ年計画で踏査し、遺跡の所在と各遺跡の範囲、性格を調査した。2年目。	R4. 9. 1～R5. 3. 24	塩谷町

3 講座、講演会、研修等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	埋蔵文化財活用のための基礎講座	講義、実習を通して埋蔵文化財（遺跡や出土品）の理解を深める。また、講師と受講者として意見交換を行いながら、学校教育や生涯学習での埋蔵文化財の活用方法を検討する。	埋蔵文化財センター・史跡・博物館等	講義（旧石器、縄文、弥生、古墳、古代等）・史跡見学・発掘現場見学・体験学習（縄文施文、アングイン編み等）・埋蔵文化財センター施設見学	栃木県内で学校教育に従事する者（学校の教職員等）及び生涯学習に従事する者	①8月9日 ②8月10日	①3名 ②6名	原則全員	ホームページにて広報。県教育委員会及び市町教育委員会・教育事務所を通じて学校等へ通知	
○ 2	発掘調査報告会	埋蔵文化財への理解と関心を喚起するとともに、考古学愛好者の学術的ニーズに応える。	埋蔵文化財センター	主に前年度に発掘調査、整理作業を行った山根遺跡・小泉分校裏遺跡・城ノ内遺跡・下津原鹿島古墳群・荒井館跡について、画像等を用いて分かりやすく説明した。	一般県民	6月26日	44名	抽選	ホームページ・ツイッターにて広報。チラシを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館に送付	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
○ 3	特別講演会	特集展示（6-4）に関連して、県内の歴史や文化に対する理解と関心を喚起する。	埋蔵文化財センター	特集展示に関連し福島大学教授菊池芳朗氏に「侍塚古墳発掘への期待」と題する講演をいただいた。	一般県民	1月29日	50名	抽選	開催要項およびチラシをホームページ、およびツイッターに掲載。チラシを県及び市町教育委員会・県内博物館・資料館等の生涯学習施設に配付。前年度参加者・メール会員にはメールで通知	
4	発掘調査現地説明会	速報的に発掘調査の成果を周知するとともに、地域の歴史や文化に対する理解と関心を喚起する。	上侍塚古墳	通常見ることができない発掘調査中の遺跡に見学コースを設け、住居跡などについてわかりやすく説明する。また、出土した土器や石器なども陳列して解説する。	一般県民	①12月3日 ②1月28日 ③3月4日	①50名 ②230名 ③250名	希望者全 員	ホームページ・ツイッターにて広報。地元市町教育委員会及び近隣の学校への通知。遺跡周辺住民への回覧板、新聞掲載	
			①山根遺跡 ②下飯貝遺跡 ③塚原遺跡・塚原古墳群		地元小・中学校・ 地元団体	①6月14日・15日 ②7月17日 ③9月22日 10月11日 11月9日	①138名 ②45名 ③57名	希望団体 は全て		団体による申し込み
5	出前授業等	地域の歴史や過去の人々の生活に対する興味と関心を喚起する。	学校・生涯学習関連施設等	当センター職員が当該学校・施設から要望のあった内容で授業・講義を行った。また、勾玉作りや土器作りの体験、アンギン編み体験も実施した。	小・中学校・大学、博物館・資料館、公民館、栃木県総合教育センター	16校+19団体 (4月1回 5月2回 6月2回 7月7回 8月6回 9月4回 10月4回 11月7回 12月1回 1月1回)	1,294名	希望校は 全て	ホームページにて広報。リーフレットやセンターだよりなどを各学校に送付	
6	史跡見学会	遺跡見学により、栃木県内の史跡の特徴を理解し関心を喚起する。	県内の史跡	借上げバスを利用して当センター職員が「那須の歴史を見てまわろう」のテーマで、駒形大塚古墳・那須八幡塚古墳・上侍塚古墳・那須国造碑・大田原市なす風土記の丘資料館・下侍塚古墳などをめぐり解説した。	一般県民	12月11日	18名	抽選	ホームページ・ツイッターにて広報。チラシを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館に送付。前年度参加者にメール等で通知	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
7	ボランティア養成	埋蔵文化財センター普及事業に携わるボランティアを養成する。	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター施設及び周辺の史跡見学に対する解説、勾玉作り等体験学習の指導を行うため、養成講座を行う。	ボランティア希望者	※コロナウィルス感染症蔓延防止のため今年度は実施せず	-	申込順	ホームページ・ツイッターにて、県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者に通知	

4 体験教室等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	埋蔵文化財センター特別公開	一般県民に広く埋蔵文化財センターの業務を周知するとともに、埋蔵文化財に関する理解を深める。	埋蔵文化財センター	施設公開及び体験学習を実施した。今年度は、時間毎に体験メニューを限定する「時間割方式」で対応した。	一般県民 (主に未就学児・小学生・および保護者)	7月29日～8月1日	予約制 69名	抽選	ホームページ・ツイッターにて広報。チラシを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館に送付。前年度参加者にメール等で通知	
2	埋蔵文化財センター見学	埋蔵文化財センターの業務を周知し、出土品の実物に触れながら、過去の人々の生活に対する理解を深める。	埋蔵文化財センター	施設見学及び収蔵庫での出土品の観察	学校、依頼のあった団体、一般県民等	48校、6団体(5月6件、6月28件、7月11件、9月1件、10月11件、11月1件、12月2件、1月2件、3月2件)	1,970名	特になし	ホームページにて広報。センターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
3	体験学習	来所者が原始・古代の物作り等を楽しみながら体験することにより、過去の生活への理解を深める。	埋蔵文化財センター	センター見学時に勾玉作り体験を実施した。	小・中学生等 一般県民	26校、1団体(5月2件、6月16件、7月6件、12月2件、1月1件)	943名	希望者は全て	ホームページ及びリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
4	周辺史跡見学	実際に史跡を見学することにより、その規模等を体感し、歴史への理解を深める。	埋蔵文化財センター周辺(摩利支天塚・琵琶塚古墳、国分寺、国分尼寺等)	当センター職員が史跡に児童・生徒等を引率し、分かりやすく説明した。	学校、依頼のあった団体等	46校、4団体(5月6件、6月27件、7月11件、10月1件、12月2件、1月1件、3月2件)	1,889名	特になし	ホームページ及びセンターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
5	埋蔵文化財センター職場体験	埋蔵文化財センターでの整理作業、発掘現場での発掘調査に従事して、職業の実体験をする。	埋蔵文化財センター・発掘現場	整理作業(水洗、注記、拓本採り、実測、トレース等)発掘作業	中学校	3校(6月2校、9月1校)のべ9日	36名	特になし	学校からの依頼による	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
6	発掘調査体験	地域の歴史を体験し、郷土愛を育てる。また、いにしえのときぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト事業の一貫として、広く県民に発掘調査の体験機会を設ける。	上侍塚古墳発掘現場	上侍塚古墳周溝の発掘作業を行う。	①地元小学校3校 ②第1回 一般 ③第2回 一般 ④第3回 一般	①11月29日 ②11月6日 ③1月15日 ④2月12日	①34名 ②21名 ③23名 ④15名	希望者は全て	ホームページ、センターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
7	栃木県フェア	埋蔵文化財の知識や資料を身近に感じ、理解を深める。	佐野イオン	土器・石器に触れる体験、古代文字体験	一般	1月14日	186名	希望者は全て	県広報・ホームページ	

5 情報誌等の発行

No.	種別	目的	実施場所	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
1	発掘調査報告書 (下津原鹿島古墳群)	発掘調査の成果を、客観的に資料化して公表するとともに、記録保存として後世に伝える。	埋蔵文化財センター	300部	都道府県教育委員会・県内市町教育委員会・博物館・図書館・考古学講座開設大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵文化財担当者が発掘調査した遺跡の情報を利用する。また、図書館等に配布し一般県民の閲覧に供する。	
2	研究紀要 第31号	埋蔵文化財センター設置目的の充実を図るため、当センター職員の日頃の調査研究の成果を学術論文等として発表する。	埋蔵文化財センター	500部	都道府県教育委員会・県内市町教育委員会・博物館・図書館・考古学講座開設大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵文化財担当者が発掘調査した遺跡の情報を利用する。また、図書館等に配布し一般県民の閲覧に供する。	
3	情報誌「埋蔵文化財センターだより」9月号、3月号	児童・生徒・一般県民及び県内外各機関等に、県内の発掘調査情報及び埋蔵文化財センターでの普及啓発事業並びに埋蔵文化財全般に関して広報する。	埋蔵文化財センター	3,500部 × 2回 1,000部 × 1回 (壁新聞)	県内学校・教育委員会・博物館・資料館等、県外都道府県教育委員会・市町・博物館・資料館、定期購読者、見学者等	配布された各機関・個人が教育・学習目的に活用するほか、年1回は、掲示できるよう壁新聞を付録として作成する。また、埋蔵文化財センター見学者、各行事参加者に配布する。	
4	「とちぎ発掘調査成果情報誌」No. 80	発掘調査報告書が専門的な内容であるため、発掘調査した遺跡の成果概要を一般県民に分かりやすく解説する。	埋蔵文化財センター	4,000部	県内学校・教育委員会・博物館・資料館等、県外都道府県教育委員会・市町・博物館・資料館、定期購読者、見学者等	配布された各機関・個人が教育・学習目的に活用する。埋蔵文化財センターが、遺跡や特定の地域等について照会を受けた時に説明資料として使用する。	

6 展示等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	常設展示	埋蔵文化財センターの仕事を紹介するとともに、遺跡、出土品等から分かった栃木県の歴史を展示・解説する。	埋蔵文化財センター	文字資料だけではなく、発掘調査等考古学的手法を駆使した歴史解明の方法を説明する。また遺跡、出土品等を、時代順（旧石器時代～平安時代）に展示した。	一般県民	常時	1,366名	特になし	ホームページにて広報。リーフレットやセンターだよりを各学校に送付。	
2	発掘調査速報展	前年度、発掘調査や整理報告の終了した遺跡の成果を、いち早く県民に公開する。	埋蔵文化財センター	「土の下には無限の造形美」と題し、荒井館跡・山根遺跡・城ノ内遺跡・下津原鹿島古墳群・上侍塚古墳の出土品を展示した。	一般県民	5月29日～ 8月21日	1,959名	特になし	ホームページ等にて広報。チラシ等を各学校・関係機関に送付。	
3	巡回展	栃木県立博物館・那珂川町なす風土記の丘資料館・大田原市なす風土記の丘資料館・栃木県埋蔵文化財センターの4館を巡る「栃木の遺跡」の展示。	埋蔵文化財センター	近年発掘された遺跡の成果を展示した。	一般県民	9月19日～ 11月27日	351名	特になし	ホームページ等にて広報。チラシ等を各学校・関係機関に送付。	
4	特集展示	特定の遺跡や遺構・遺物にスポットを当て、それらが持つ意味を考察する。	埋蔵文化財センター	侍塚古墳の発掘調査を公開するとともに、県内の主要な前方後方墳についての展示を行った。	一般県民	1月15日～ 2月26日	281名	特になし	ホームページにて広報。チラシ等を各学校・関係機関に送付。	
5	市町連携支援 ※申し込みなし	地域の遺跡・出土品を活用した事業の企画等をサポートする。	各市町の資料館・図書館・公民館等	市町と協力し、収集する出土品等を用いて、地域の歴史を対象とした展示や講座等の企画・運営などについて市町をサポートをする。	連携する市町の住民	随時	特になし	特になし	市町の広報誌	
6	県庁本館ミニ展示	遺跡の出土品を活用し、広く県民に埋蔵文化財や歴史への関心や理解を深める。	県庁本館企画展示コーナー	特定のテーマに関連した出土品を展示・解説する。併せて期間中にギャラリートーク（展示解説会）を実施した。	一般県民	2月13日～ 3月24日	特になし	特になし	ホームページ・ツイッターにて広報	
7	フォトCD展	フォトCD化した遺跡の画像の一部を公開し、過去に発掘調査した遺跡を紹介する。	埋蔵文化財センター	展示室において野木町清六Ⅲ遺跡のフォトCDを映像化し、デジタルサイネージにより公開した。	一般県民	3月17日～ 3月31日	129名	特になし	ホームページ・ツイッターにて広報	

7 栃木県総合文化センター管理運営事業(指定管理)

1 施設管理

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用件数、利用料金収入	委託元
1	総合文化センター	総合文化センターは、県民の文化の振興及び福祉の増進を図るため、栃木県が平成3年に設置した公の施設である。また、県民の生活に潤いと活力をもたらすとともに、文化の振興に寄与することを設立目的としている。「文化の鑑賞・発表機会の提供」「本県文化を担う人材の育成」「文化交流の促進」「とちぎ文化の発信」の場として利用いただくよう運営に当たっている。当財団は、開館した平成3年度から第3期指定管理者9年目となる令和4年度までの32年間一貫して管理運営に当たっている。	宇都宮市本町1番8号	メインホール、サブホール ギャラリー(1~4) 特別会議室、会議室(1~4) 練習室(音楽、演劇、古典芸能) リハーサル室、和室(1~2) プレイガイド	利用件数 3,269件 内、割引・減免利用 597件 時間外利用 532件 利用料金収入 129,414,980円	栃木県

No.	名称	目的	内容	対象	回数など	委託元
2	利用受付・打ち合わせ業務	施設の貸出受付及び打ち合わせをホスピタリティーを持って取り組むとともに、快適にご利用いただきリピーター利用者を確保する。	施設の貸出受付、利用者打合せ業務	施設利用者	抽選会参加団体数 292団体 利用者打合せ・施設下見件数 532件 学会・大規模大会件数 7件	栃木県
3	広報・情報の発信	施設の利用促進を図るとともに、県民への催事情報の提供を行う。	催し物案内の発行・ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供業務、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告・広報活動業務	一般	催し案内 年6回発行22,800部/約510箇所(配布) 催し案内増印配布(1,000部) HP:更新(6回)	栃木県
4	らくらくサービス業務	主催者の催し物運営をスムーズに進行できるようにバックアップするとともに、利用者の拡大を図る。	催事フロアサービス・ケータリング・飾花・舞台オペレート・ピアノ調律・看板製作、会議室・練習室等設営、白布レンタル、ゴミ処理等	施設利用者	お弁当の手配 159件 レイアウト変更 33件 舞台オペレート 53件 看板製作手配 60件 その他 188件	栃木県
5	保守点検業務	施設の維持管理及び利用者の安全確保のため保守点検業務を実施する。	舞台設備関係、施設設備関係、消防設備関係等の点検業務	-	舞台設備関係 5件、15回 舞台吊物、舞台照明、舞台音響等 施設設備関係 9件、48回 冷暖房、給排水、電気、昇降機等 消防設備関係 3件、6回 火災報知設備、非常放送設備等 その他 5件、21回	栃木県
6	工事及び修繕関係	施設の維持管理、利用者の安全確保及びサービス改善のため工事及び修繕を実施する。	故障箇所等や利用者の安全確保及びサービス改善のための工事・修繕	-	ホール設備関係 2件 メイン・サブホール禁煙灯更新工事等 一般設備関係 21件 メインホール配電盤換気扇交換工事等 環境改善関係 3件 噴水周りベンチ塗装工事等 その他 2件 ホール備品ミラーホール修繕等	栃木県
7	危機管理対策	利用者の安全確保ため、防火・防災訓練等を実施する。	危機管理マニュアル整備及び防火・防災訓練の実施 新型コロナウイルス感染症対策の各種対応	職員	消防・避難訓練(消防署通報訓練) 1回 1月20日実施 消火訓練 1回 6月23日実施	栃木県
8	事業評価	更なるサービス向上を図るため事業評価を実施する。	利用者アンケート、抽選時アンケート、来館者アンケート等の実施	施設利用者	新規利用者131件調査、繰返利用者457件調査、抽選参加者253団体中80件回答	栃木県

令和4年度 栃木県総合文化センター 施設別利用率、収入金額一覧

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和3年度
メインホール	利用率	53.6%	30.8%	60.0%	90.0%	69.2%	64.0%	75.0%	73.3%	50.0%	66.7%	63.6%	43.3%	61.8%	50.8%
	収入金額	4,208,090	2,325,040	4,029,530	6,557,890	3,598,410	3,282,650	4,957,340	4,709,550	3,718,930	4,250,800	4,073,850	2,612,460	48,324,540	37,168,240
サブホール	利用率	65.5%	60.7%	63.6%	76.7%	80.8%	59.3%	73.3%	92.9%	75.0%	66.7%	81.8%	86.7%	73.8%	56.1%
	収入金額	1,211,150	1,271,330	1,170,420	2,003,860	1,671,490	1,397,280	1,761,370	2,034,640	1,920,040	1,096,550	1,512,600	2,131,910	19,182,640	13,817,670
ギャラリー	利用率	50.6%	71.7%	62.0%	56.7%	44.6%	57.0%	65.6%	78.4%	62.6%	53.0%	75.9%	34.9%	59.1%	49.8%
	収入金額	829,470	1,229,440	886,960	933,050	749,160	909,340	1,112,280	1,272,290	958,540	612,250	1,021,360	584,370	11,098,510	9,441,360
会議室	利用率	50.2%	47.5%	65.3%	64.3%	59.9%	59.0%	62.2%	78.6%	62.8%	51.9%	67.7%	47.0%	59.7%	52.6%
	収入金額	2,369,210	2,429,730	2,841,500	2,994,330	3,307,480	3,020,280	3,443,840	4,618,900	2,671,980	1,782,440	2,797,550	2,237,880	34,515,120	28,358,010
練習室	利用率	55.1%	54.0%	57.0%	67.5%	70.5%	60.0%	67.7%	74.2%	66.1%	64.8%	60.4%	50.8%	62.3%	55.5%
	収入金額	605,190	655,570	654,950	1,296,920	1,237,120	826,390	1,001,240	1,121,610	987,560	711,820	805,320	790,760	10,694,450	9,176,330
楽屋	収入金額	471,710	217,680	366,810	658,980	421,040	335,700	671,650	539,050	503,790	494,290	521,290	397,730	5,599,720	4,143,380
収入金額合計 (参考)	R4年度	9,694,820	8,128,790	9,950,170	14,445,030	10,984,700	9,771,640	12,947,720	14,296,040	10,760,840	8,948,150	10,731,970	8,755,110	129,414,980	
	R3年度	6,561,240	7,565,040	8,101,160	9,059,200	7,892,010	6,592,380	10,421,080	10,889,090	10,523,720	7,482,280	8,162,750	8,855,040	102,104,990	

* 収入金額は利用実績であり、取り消し及び変更に伴う還付の収入は含まない。

収入金額
前年度比
126.7%

らくらくサービス収入金額

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
(参考)	R4年度	460,639	724,431	115,878	1,154,492	358,535	355,317	1,448,627	888,600	3,778,364	592,153	652,612	902,462	11,432,110
	R3年度	210,532	99,832	766,712	369,730	185,542	525,207	413,700	656,471	778,929	431,726	563,544	605,020	5,606,945

収入金額
前年度比
203.9%